

# 岩手県感染症週報

平成27年第48週(11月23日～11月29日)

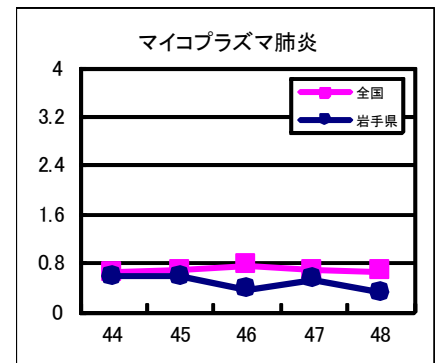
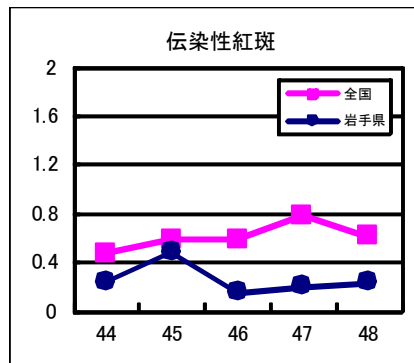
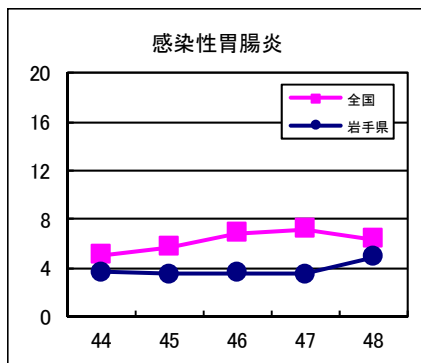
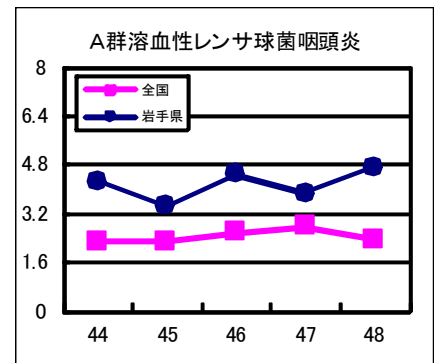
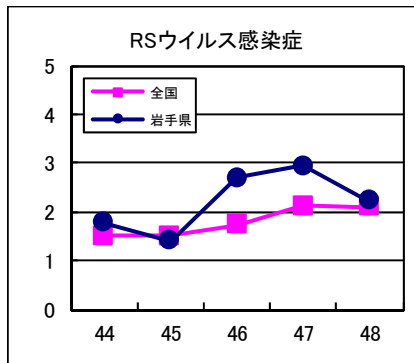
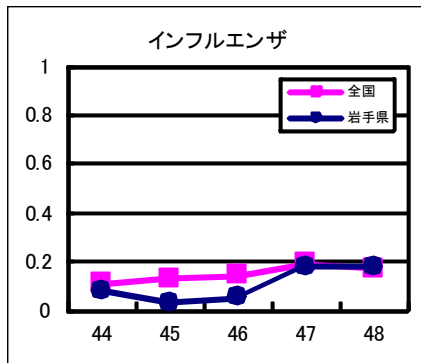
岩手県感染症情報センター

## 第48週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が5例ありました。潜在性結核感染症例はありません。
- 3 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・レジオネラ症の報告が県央地区から2例、奥州地区から1例の計3例ありました。患者は、県央地区が50歳代の男性と60歳代の男性、奥州地区が60歳代の男性です。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
  - ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が、盛岡市から1例ありました。患者は80歳代の女性です。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
  - ・ インフルエンザは、報告数は少ないのですが、盛岡市、県央、中部、奥州、一関及び釜石地区から報告がありました。簡易キットによる検査では、奥州地区でB型が、他の地区ではA型が検出されています。ワクチンは、今シーズンから、A型が2種類、B型が2種類含まれた4価ワクチンが導入されています。ワクチン接種後、2週間程度で予防効果が現れるので、早めの接種が勧められます。
  - ・ 感染性胃腸炎は、保育園においてノロウイルスによる集団感染事例が続発しています。集団で生活する保育園等では、石けんと流水を用いた手洗い、患者の汚物の適切な処理などの注意が重要です。
  - ・ 溶連菌咽頭炎は、前週より増加しました。中部及び二戸地区で警報値(定点あたり患者数8人)を超えているので、さらに注意が必要です。予防には患者との濃厚接触を避けること、手洗いやうがいなどの励行が重要です。
  - ・ RSウイルス感染症は、釜石地区で急増しました。乳幼児は、細気管支炎、肺炎等を併発し呼吸困難を呈することがあるので注意が必要です。

## 最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		44	45	46	47	48		
インフルエンザ	岩手県	0.08	0.03	0.05	0.18	0.18	→	
	全国	0.11	0.13	0.14	0.19	0.17		
RSウイルス感染症	岩手県	1.78	1.4	2.7	2.95	2.23	↘	☆☆
	全国	1.51	1.5	1.73	2.13	2.11		
咽頭結膜熱	岩手県	0.2	0.3	0.25	0.4	0.15	→	☆
	全国	0.33	0.35	0.39	0.47	0.46		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	4.23	3.43	4.48	3.85	4.7	↗	☆☆
	全国	2.28	2.29	2.59	2.76	2.35		
感染性胃腸炎	岩手県	3.68	3.55	3.6	3.55	4.9	↗	☆
	全国	5.06	5.72	6.88	7.18	6.42		
水痘	岩手県	0.58	0.45	0.53	0.68	0.48	→	☆
	全国	0.41	0.44	0.55	0.6	0.65		
手足口病	岩手県	0.95	0.85	0.4	0.58	0.65	→	☆
	全国	0.64	0.52	0.37	0.39	0.27		
伝染性紅斑	岩手県	0.23	0.48	0.15	0.2	0.23	→	☆
	全国	0.47	0.59	0.59	0.78	0.61		
突発性発疹	岩手県	0.5	0.55	0.48	0.6	0.38	→	☆
	全国	0.52	0.5	0.52	0.53	0.45		
百日咳	岩手県	0.03	0	0	0.03	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.1	0.05	0	0.1	0.08	→	
	全国	0.1	0.06	0.06	0.07	0.05		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.18	0.18	0.38	0.43	0.33	→	☆
	全国	0.54	0.65	0.7	0.67	0.77		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.14	0.43	0.43	0.21	0.71	→	☆
	全国	0.88	0.76	0.83	0.9	0.86		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.03	0.02	0.03	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.05	0.04	0.03	0.04	0.04		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.58	0.58	0.37	0.53	0.32	→	☆
	全国	0.64	0.68	0.76	0.68	0.66		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0.05	0	0	→	
	全国	0.03	0.01	0.03	0.03	0.02		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.05	0	0.21	0.05	0	→	
	全国	0.03	0.07	0.03	0.04	0.04		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	0	1	0	0	0		
	全国	9	14	18	17	17		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※中東呼吸器症候群 (MERS) 及び鳥インフルエンザ (H7N9) が2015年1月21日より二類感染症に追加されました。

(患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					累計	全国	
		44	45	46	47	48		48	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 ( ) 内は潜在性結核感染症患者再掲	2 (1)	11 (6)	2 (1)	1 (0)	5 (0)	231 (102)	287	21796
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	6
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	1	149
	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	0	0	0	85	24	3437
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	33
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	29
四類 感染症	E型肝炎	0	1	0	0	0	7	2	179
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	1	2	226
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	1	20
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	5
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	4
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	0	57
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	17
	つつが虫病	0	0	1	0	0	6	33	273
	デング熱	0	0	0	0	0	0	5	274
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	200
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	2
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	4
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	1	
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	39	
野兎病	0	0	0	0	0	0	0	2	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	10	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	1	
レジオネラ症	0	1	0	0	3	25	25	1457	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	27	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

※カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、水痘 (入院例)、播種性クリプトコックス症、薬剤耐性アシネトバクター感染症が2014年第38週より報告されることになりました。

分類	疾病名	岩手県						全国	
		44	45	46	47	48	累計	48	累計
五類 感 染 症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	8	8	992
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	2	8	234
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	0	0	0	0	3	15	1512
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	1	0	0	0	4	2	448
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	13
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	2	165
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	2	6	391
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	3	15	1279
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	72
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	3	3	216
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	27
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	1	0	1	16	23	2047
	水痘 (入院例)	0	0	1	0	0	4	3	268
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	1	45	2340
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	1	104
	破傷風	0	0	0	0	0	1	1	110
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	57
	風しん	0	0	0	0	0	1	2	151
	麻しん	0	0	0	0	0	0	2	34
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	32	

今注目の感染症

インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。症状は、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。

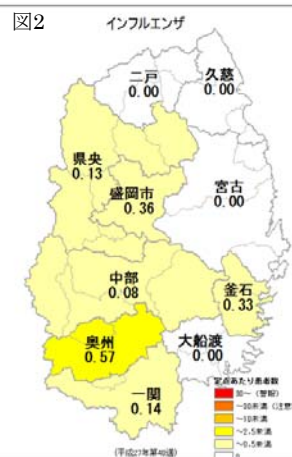
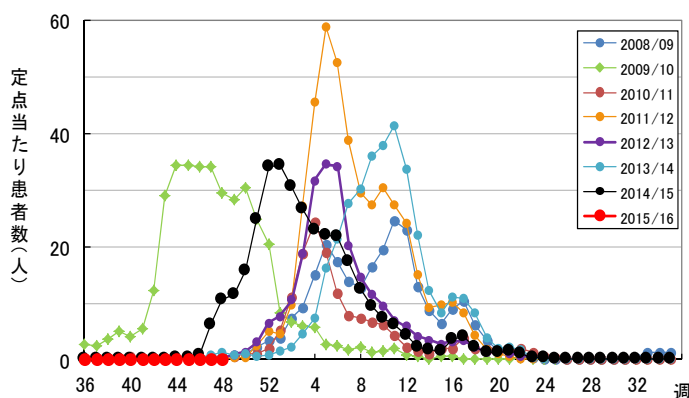
岩手県の発生状況ですが、例年11月下旬から12月上旬頃から発生が始まり、翌年の1～3月頃に患者数が増加します。今シーズンの第48週は、報告数は少ないのですが、図2のとおり6地区から報告がありました。

今年度の季節性インフルエンザワクチンは、インフルエンザA(H1N1)亜型(インフルエンザ(H1N1)2009)と同じ亜型)、A/H3N2亜型(いわゆるA香港型)、B型(山形系統)、B型(ビクトリア系統)の4種類が含まれたワクチン(いわゆる4価ワクチン)です。昨年度までの3価ワクチンに比べ、B型を2種類にすることで、より高い予防効果が期待できるものです。ワクチンの予防効果が現れるのは、接種後2週間から5ヶ月程度と考えられています。早めの接種が勧められます。

参考 国立感染症研究所

インフルエンザとは <http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/219-about-flu.html>

図1 インフルエンザ、岩手県(2008/09-2015/16)



今注目の感染症 (つづき)

RSウイルス感染症

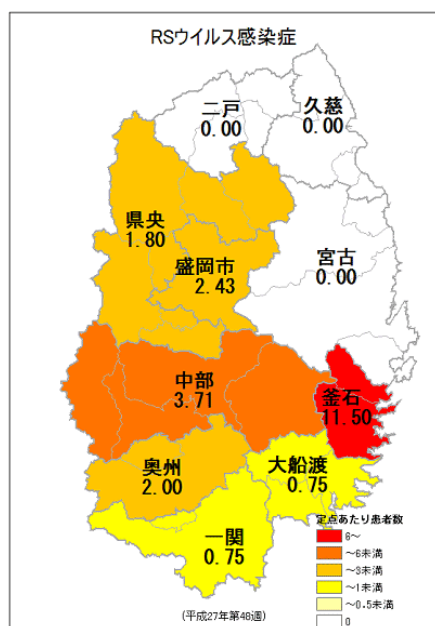
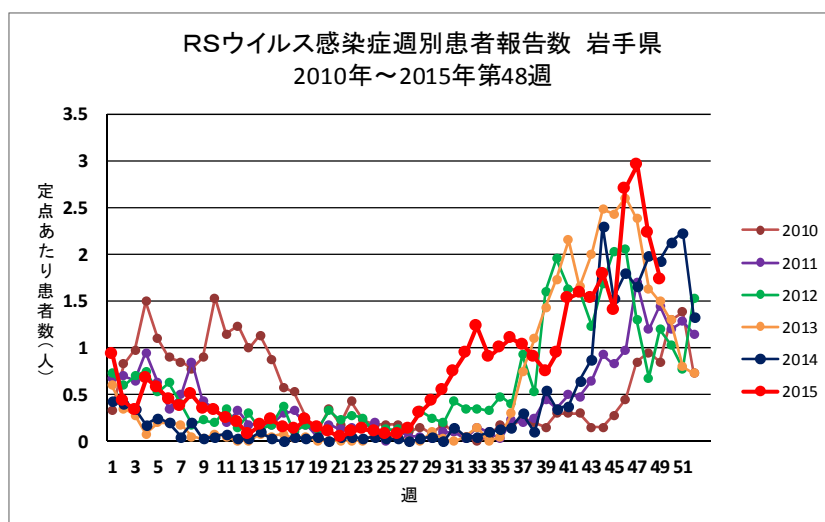
RSウイルス感染症は、秋から冬にかけて流行するRSウイルスによる急性呼吸器感染症です。何度も感染と発症を繰り返しますが、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の児がRSウイルスに少なくとも1回は感染するとされています。

症状は、軽い風邪症状から重い肺炎まで様々ですが、初めて感染発症した場合は重くなりやすいといわれており、乳児、特に乳児期早期にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎など重篤な症状を引き起こすことがあります。そのため、乳児期早期の感染を避けるための注意が必要です。

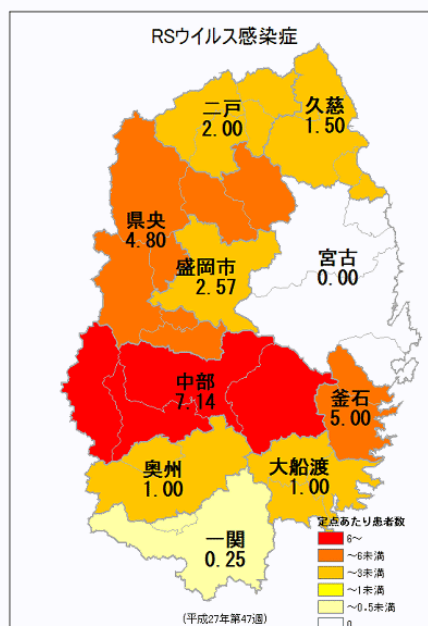
感染経路は飛沫感染および接触感染(鼻水や喀痰のウイルスが手指や器物を介して感染)です。予防には、手洗いや咳エチケットが重要です。

参考 厚生労働省 RSウイルス感染症Q&A

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_qa.html)



第48週



第47週

今注目の感染症 (つづき)

感染性胃腸炎

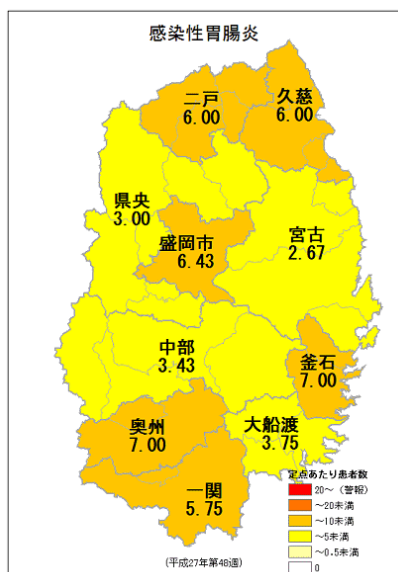
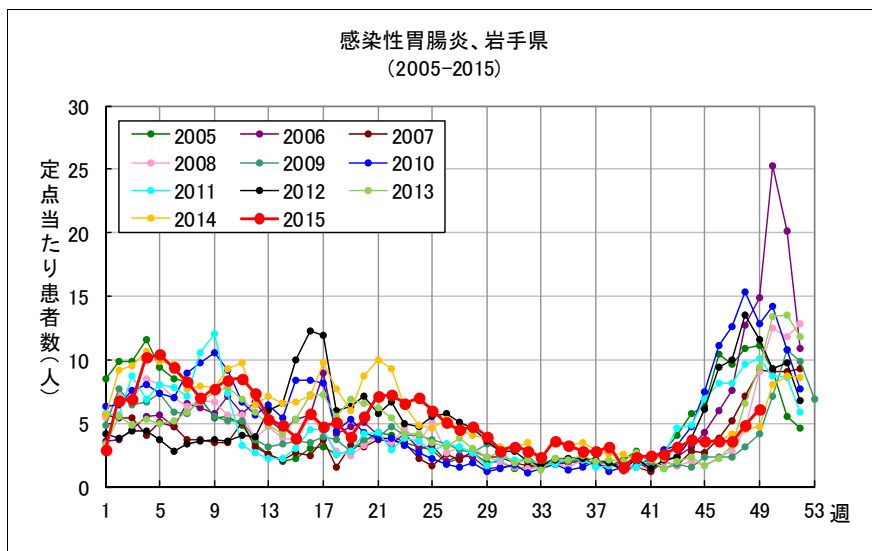
感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年では、流行の前半はノロウイルスが、後半はロタウイルスが患者から多く検出されています。

感染性胃腸炎の報告数は、例年、11月頃から増加し、12月にピークを迎えますが、2015年は報告数の少ない状況で推移しています。しかし、県内では保育園においてノロウイルスなどによる集団感染事例が報告されています。

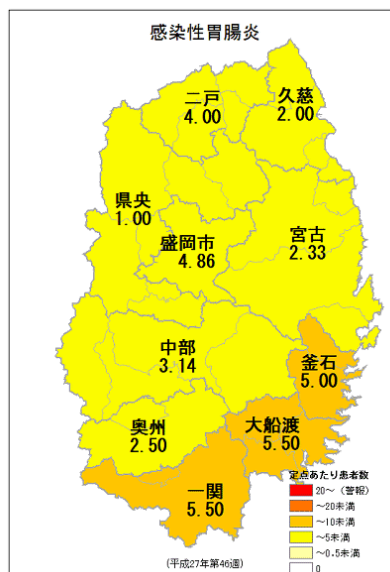
感染性胃腸炎の原因となるウイルスの感染経路は、主に経口感染です。感染力が非常に強いので、保育園など集団で生活する場では、注意が必要です。また、ノロウイルスではGⅡ17変異株(いわゆる「新型ノロウイルス」)が他県で検出され、全国的な流行が懸念されるため、県内での発生の動向に注意が必要です。その予防には、これまでどおり、調理前、食事前、用便後に石けんを用いた十分な手洗い、食品の十分な加熱、患者の汚物の塩素系消毒剤による適切な処理が重要です。

参考 厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)



第48週



第47週



## 病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありません。

## 集団感染情報

### ○感染性胃腸炎の集団発生について

雫石町内の保育所（児童数43名 職員数9名）

- ・11月19日（木）から11月27日（金）にかけ19名（園児17名、職員2名）に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者3名から、ノロウイルスを確認

一関市内の保育所（児童数133名 職員数40名）

- ・11月25日（水）から11月29日（日）にかけ21名（園児18名、職員3名）に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者6名から、ノロウイルスを確認

盛岡市内の保育園（園児144名 職員37名）

- ・11月20日（金）から12月1日（火）にかけ園児14名に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症園児7名中4名からノロウイルスを確認

## 医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

## Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

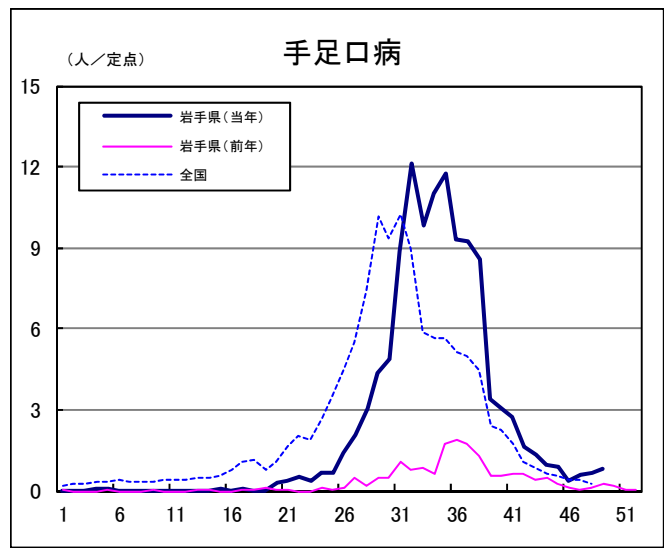
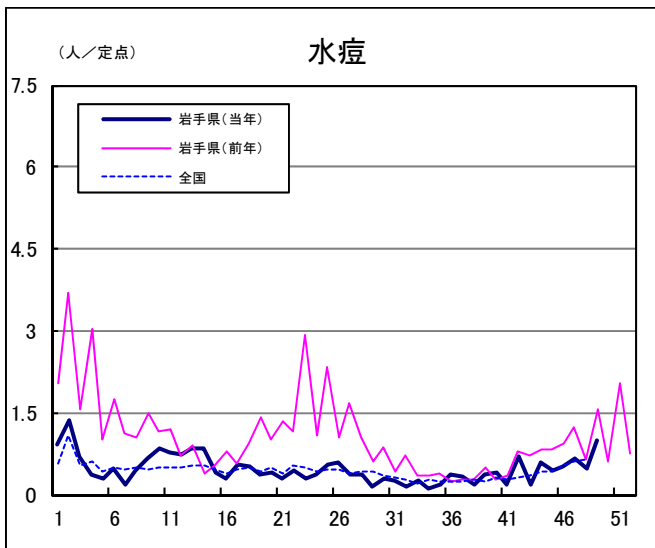
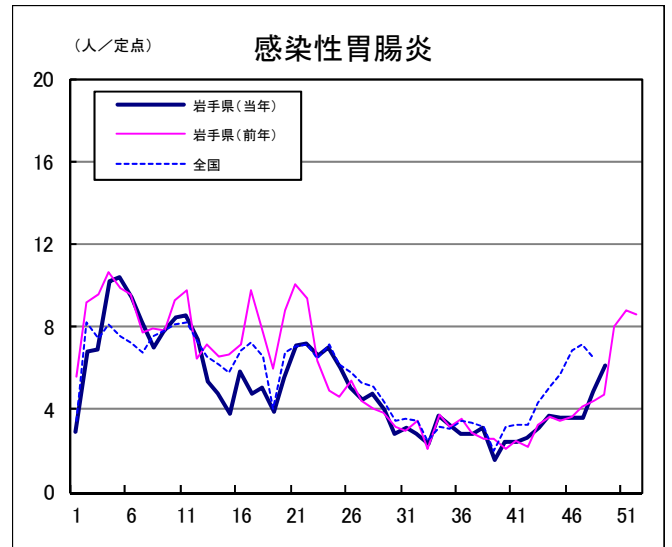
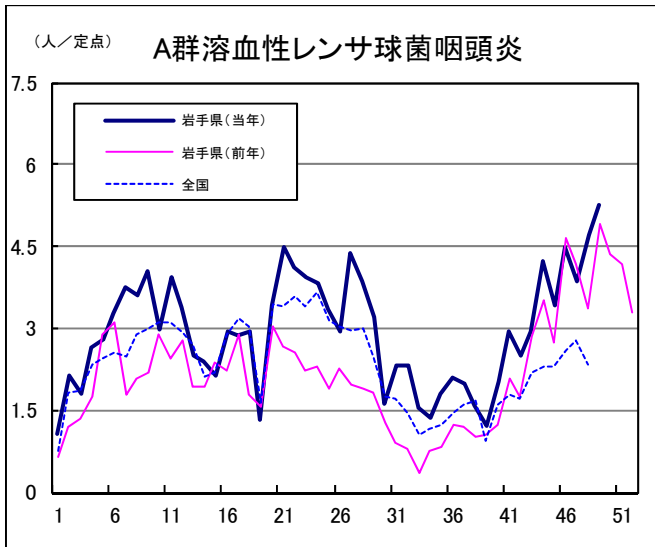
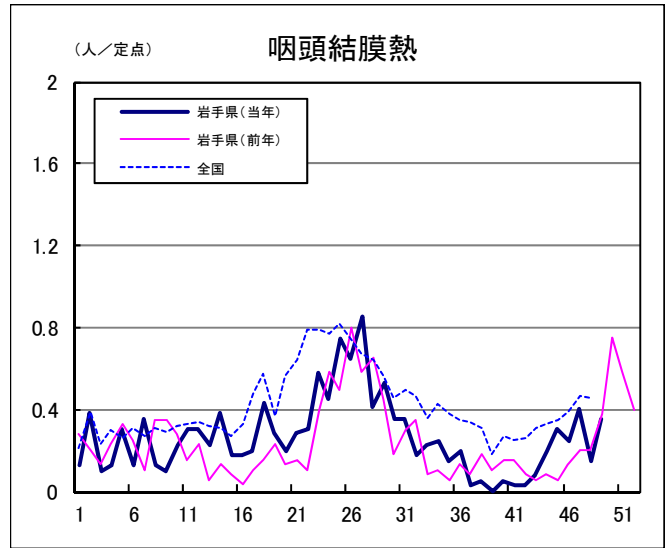
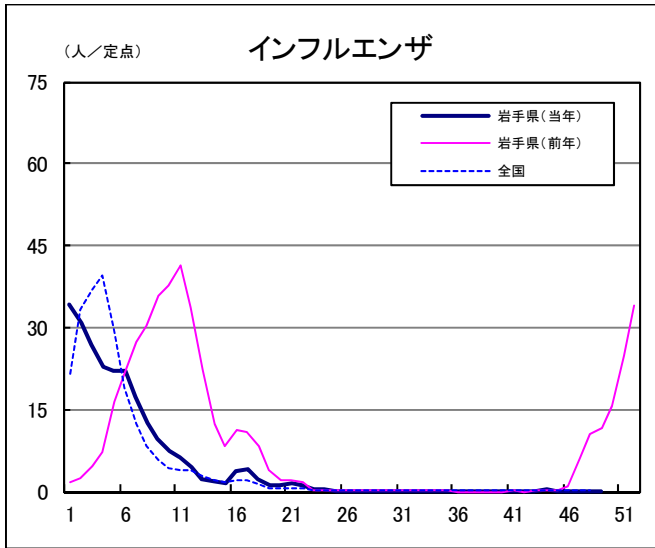
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

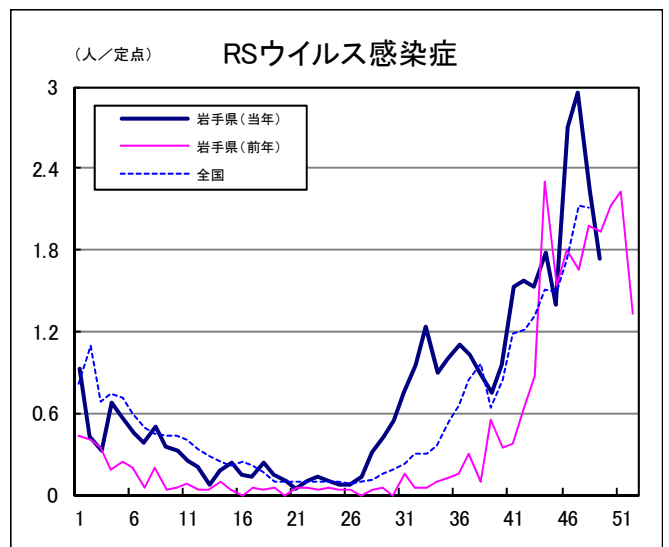
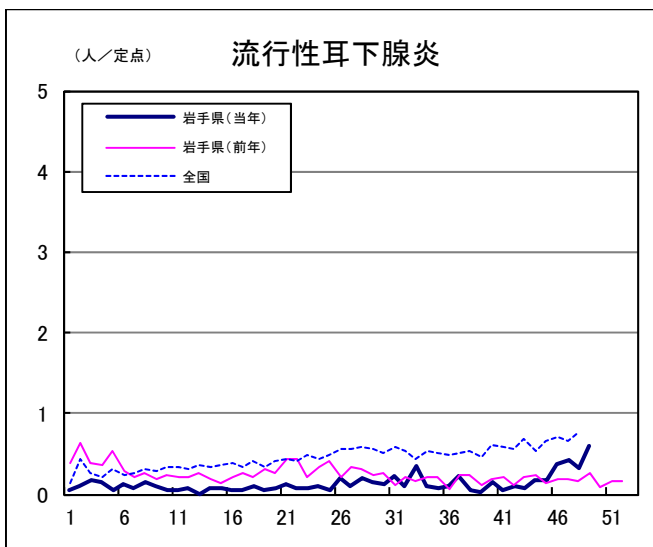
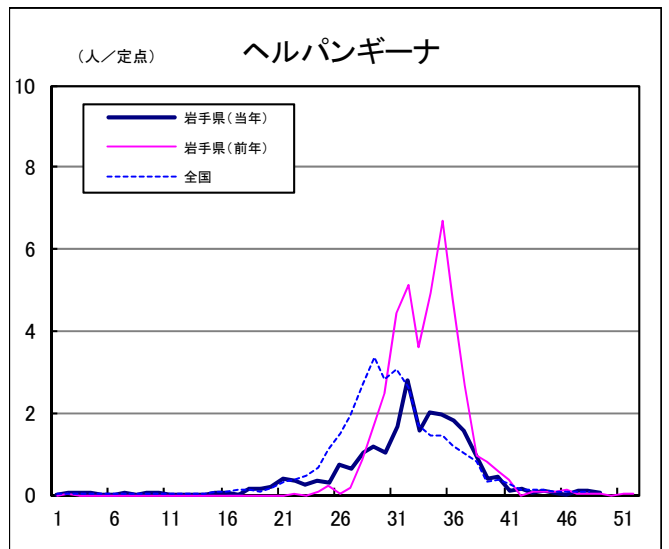
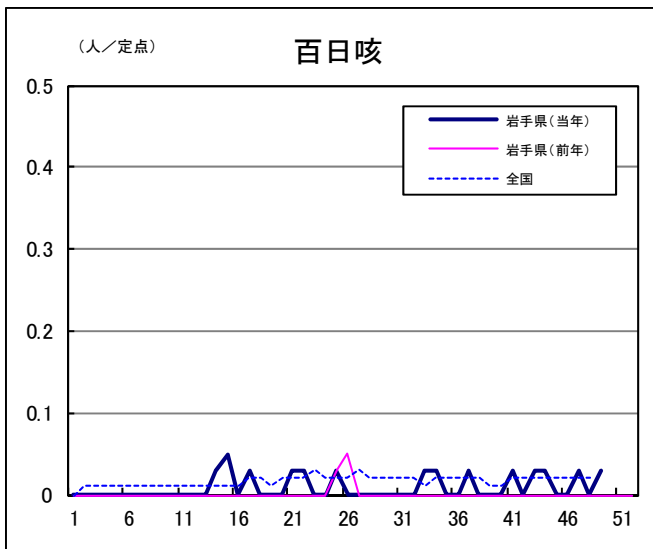
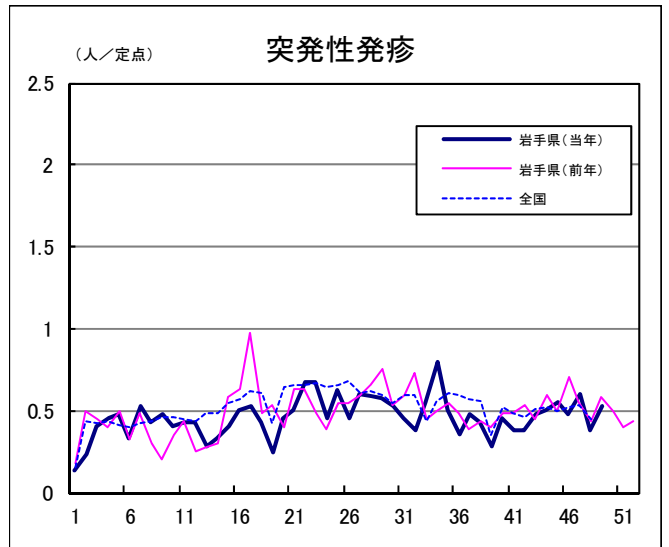
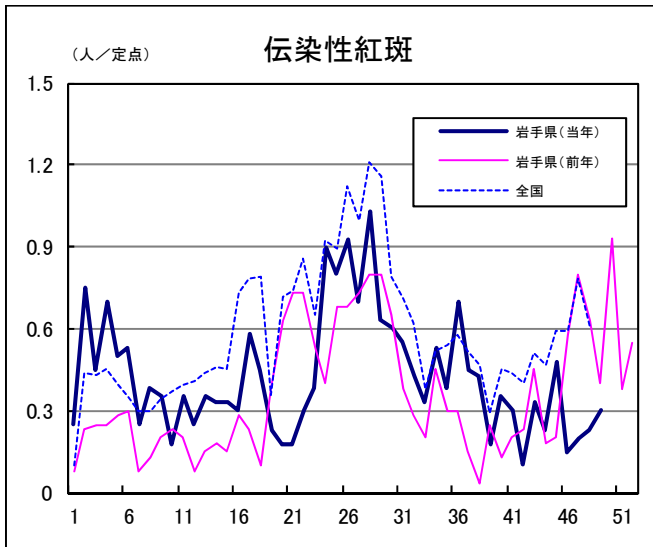
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

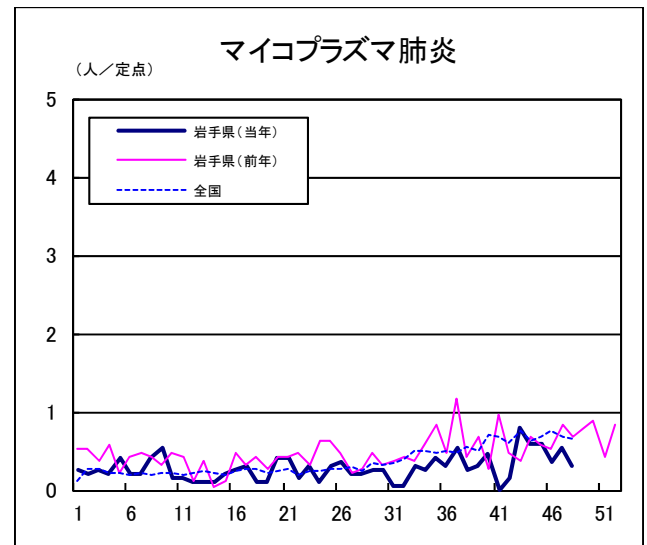
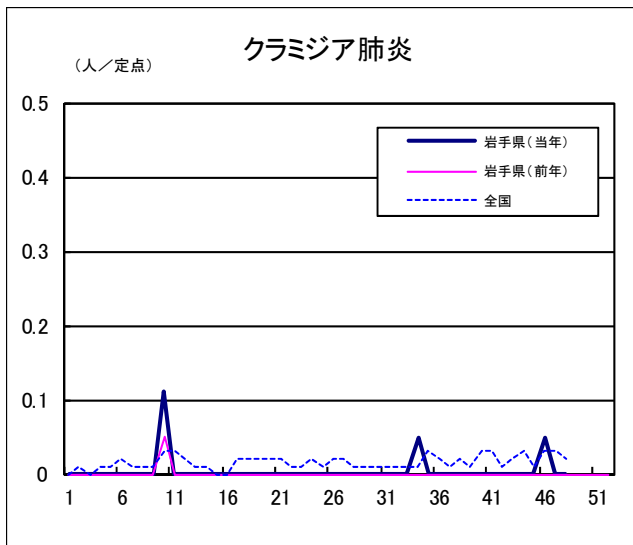
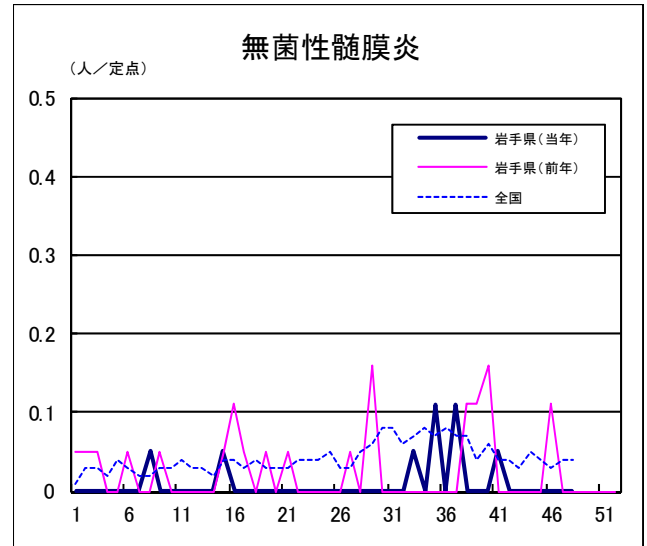
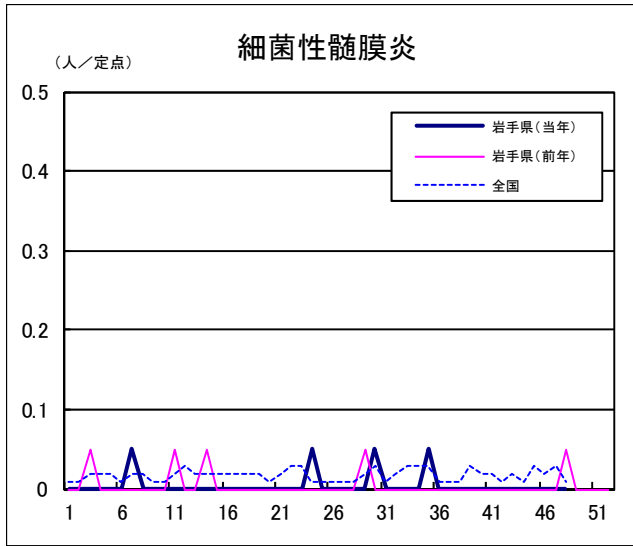
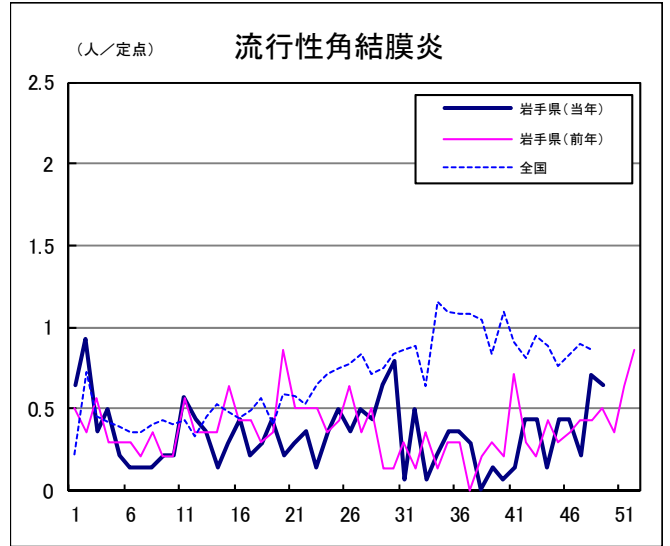
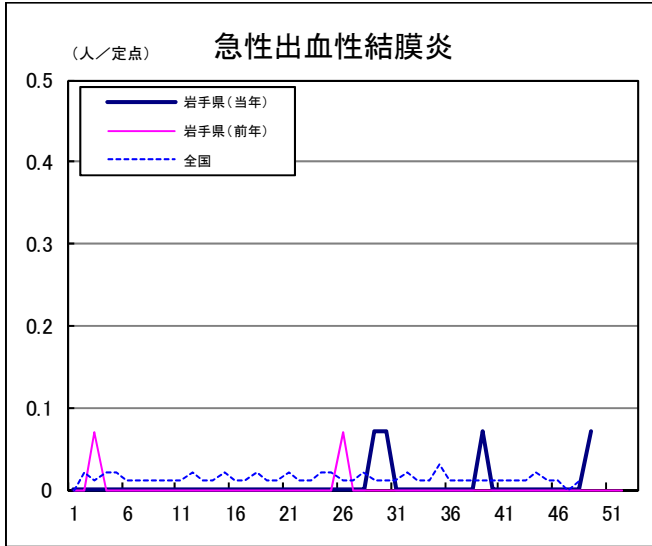
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)









定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	65	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	8	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成27年第48週 平成27年12月4日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター  
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター  
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/index.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>